

国際芸術祭「あいち2025」パートナーシップ・プログラム

鈴木昭男・宮北裕美「写物静生」

Aichi Triennale 2025 Partnership Program

Akio Suzuki and Hiromi Miyakita *Sha Butsu Sei Sei*

写物 静生

現代の都市生活は、人工的に作られた構造体の中で生きざるを得ません。
人間にとって心地よい時間や、空間の感覚を抑えて生きている人もいることでしょう。
けれども今の生活スタイルを変え、どこか自然豊かな土地で暮らす、
そんな選択ができる人の数は限られています。
「写物静生」は、人間が培ってきた暮らしのメリットを活かしながらも、
失われそうになる身体感覚を取り戻し、
日常を今より軽やかに過ごす一助となるようなプログラムです。

主催 | 「写物静生」実行委員会 共催 | mh PROJECT_ノコギリニ、みずのうえ文化センター、豊橋市教育委員会、アートオブリスト実行委員会、大府市

上: 宮北裕美《写物静生 1》(2025) 下: 鈴木昭男《点音》(2009/京都芸術センター / 撮影: 吉見峻)